

クーデター後の日本政府の対ミャンマー支援  
「民政化」時の債務帳消しに係る  
日本政府の説明責任

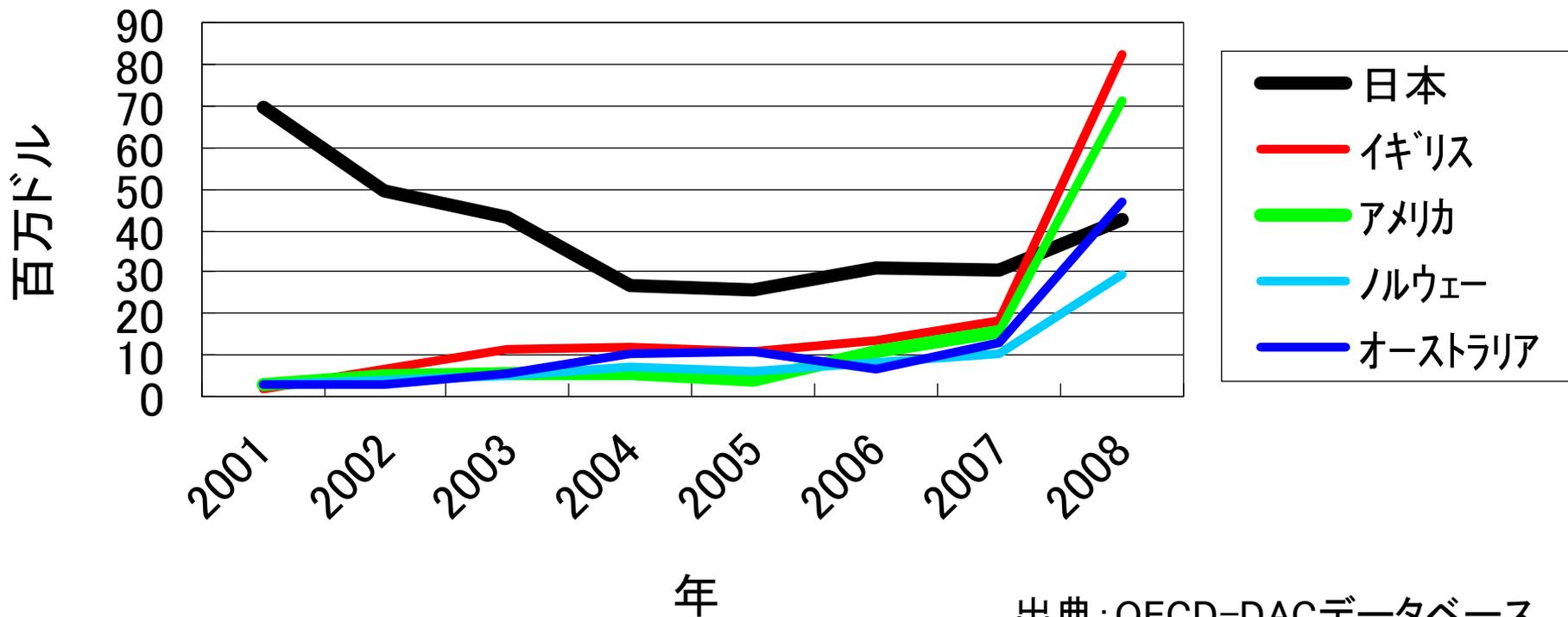
2021年4月9日

松本 悟  
(法政大学国際文化学部)

# この話をする理由

- ・ ミャンマーの民主化を進めるために投じられた公的資金。
- ・ ミャンマーの債務帳消しは2012年から13年にかけて進められた。
- ・ 「遺憾だ」「軍との独自のチャンネル」で見過ごされる日本政府の説明責任。

## 対ミャンマーODA純支出額(民主化直前まで)



出典: OECD-DACデータベース

- ・日本も「制裁」へ。独自外交は民主化に有効だったのか？
- ・民主化の動きに対して反応が遅かった。

※2013年(支出純額ベース、単位は百万ドル)

1位日本5,332 2位フランス592 3位英国156 4位米国 81

日本がODAをすぐに増額できなかった理由

## ミャンマーの対日延滞債務問題

### 返済期限が過ぎた債務

- ・ 元本＋利子＋延滞損害金
- ・ 対日延滞債務（ODA）－約5000億円
- ・ 対世界銀行－約4億ドル
- ・ 対アジア開発銀行（ADB）－約5億ドル
- ・ 対独－約2.9億ドル

欧米諸国はほとんど無償援助。多額の延滞債務が支障となって新規の円借款供与は困難

# ミャンマーの対日公的債務とその救済

■1988年軍事クーデターまでに供与した円借款ODAは約4,029億円

- ① 2003年3月末までの返済期日（債務救済無償の対象 [=いったん返済する必要あり]で未返済）のものが**1,989億円**
- ② 2003年4月以降に返済期日（債務免除の対象なので返済不要）がきたものが**1,274億円**
- ③ 延滞損害金が**1,761億円**

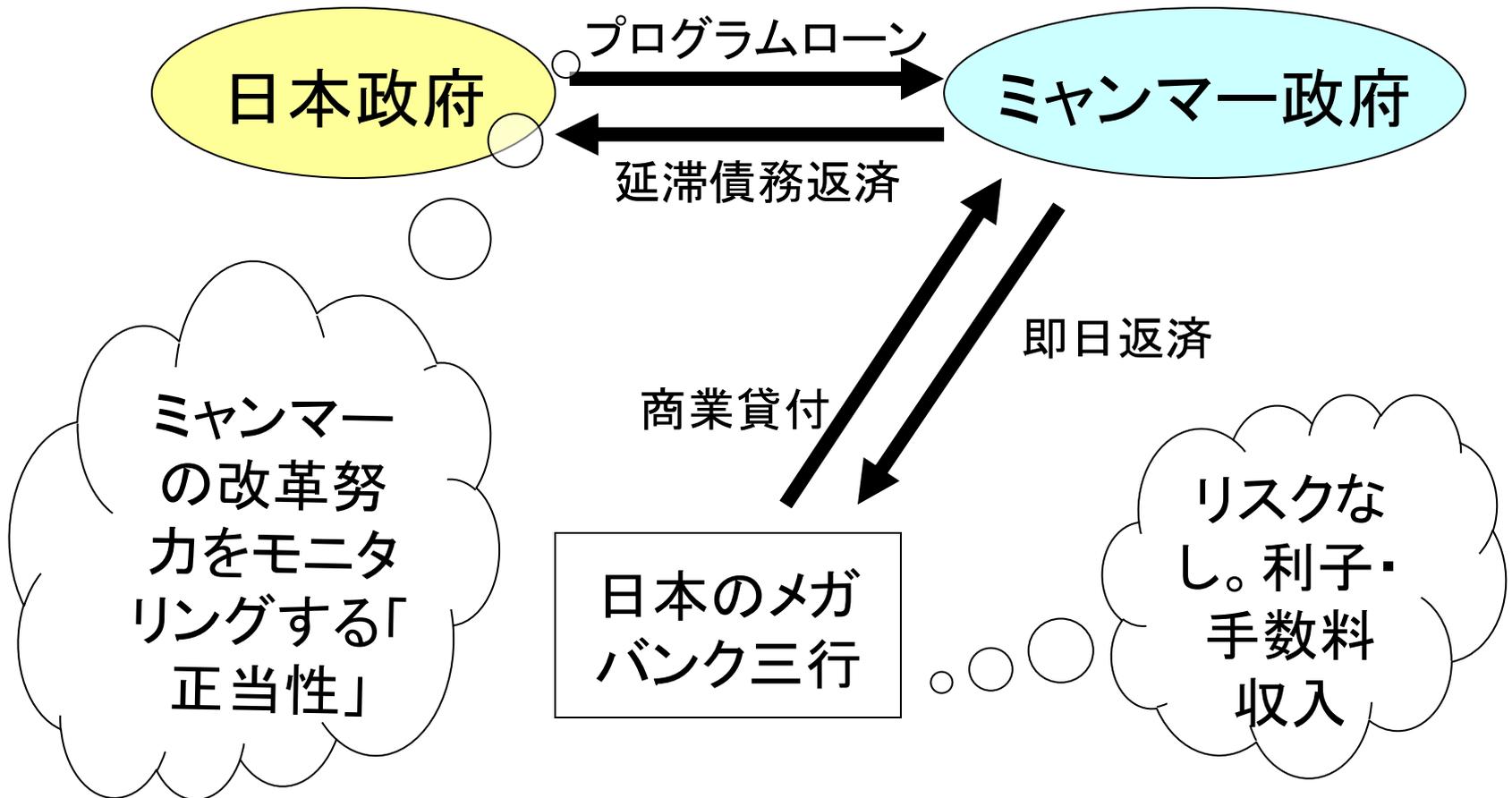


①の**1,274億円**⇒無条件に免除手続きを開始

③の延滞損害金**1,761億円**⇒ミャンマー政府の改革努力を1年間モニタリング後免除（スーチー氏の再拘束など民主化後退等）

②2003年3月末までの返済期日（いったん返済した後で同額の無償援助を行う対象）の**1,989億円**⇒ミャンマー政府はブリッジローンで返済、日本政府は同額のプログラムローンを供与し改革努力を1年間モニタリング

# ブリッジローン



# プログラムローンの内容

- ・ 年利0.01%、10年据置40年償還。
- ・ 異例の「一括支払い」。メガバンクへの返済に充当。
- ・ 日本政府による**わずか1年の改革モニタリング**。
- ・ 償還すら始まっていない。

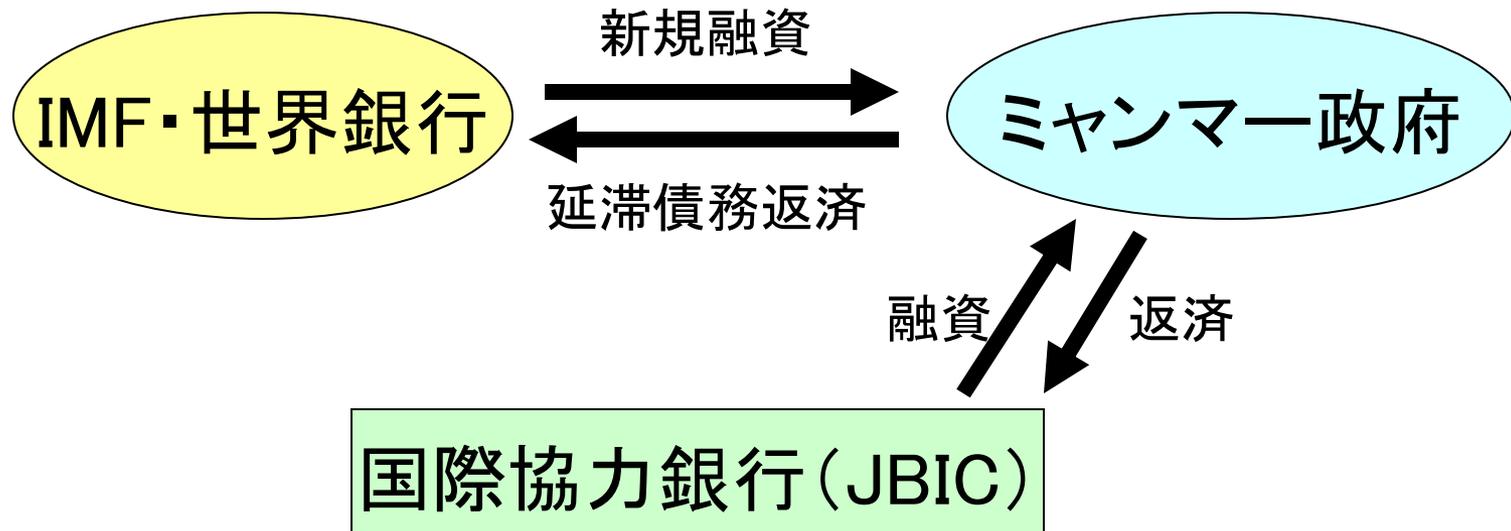
Policy Matrix

Policy Clusters	Actions already taken	Actions to be monitored	Responsible Agencies
<b>I. Macroeconomic Management and Development Policy</b>			
1-1 Arrears clearance	- Started reconciliation of debt figures with bilateral creditors	- Started reconciliation of debt figures with multilaterals and Paris Club creditors, with some concrete plans for arrears clearance	- MOFR, Budget Dept.
1-2 Development Strategy	- Started drafting 5-year National Plan  - Identified the following development tasks based on the recommendations of national level workshop on Rural Development and Poverty Alleviation 1. Agricultural Production 2. Livestock Breeding and fisheries Production 3. Rural Productivity and Cottage Industries 4. Micro Savings and Credit Enterprises 5. Rural Cooperative Tasks 6. Rural Socio-Economy 7. Rural Energy 8. Environmental Conservation	- The new 5-year National Plan will be approved by the Parliament, which stipulates, among others, the importance of: - Sustaining agriculture development towards industrialization and all-round development; - Balanced and proportionate development among all states and regions; - Inclusive growth for the entire population and - Quality and correctness of statistics  - Hold meetings of the Union level central committee, Union level sub-committees and region/state level work committees for an effective implementation of development tasks  - An English summary of the new 5-year National Plan made available to donors as the basis for expanded collaboration.	- MNPED, Planning Dept.  - MNPED, Foreign Economic Relations Dept  - MNPED, PD
1-3 Fiscal management	- Kept fiscal deficit in the range of 4.7% of GDP in the 2012/13 FY budget.  - Budget law amended to give more financial autonomy to SEEs.	- Adhere to the target deficit level (excluding financing by grants and concessional loans), in a consistent manner with a sound macro-economic policy framework.	- MOFR, BD  - MOFR, BD

- ・ マクロ経済運営、開発政策、社会セクター、ガバナンス等の改革支援
- ・ 政策課題と各種改革の共同モニタリング実施(在京NGOと3回非公式意見交換会)

# 国際機関(世界銀行等)の対応

- ・ アメリカ政府(保守派)の懐疑
- ・ 日本政府による説得⇒日本単独での延滞債務帳消しへの懸念



# 「民主化前」の対ミャンマーODA

- ・ 対ミャンマーの延滞債務帳消しはほとんど国内で議論されず、注目もされなかった。1年間のモニタリングで1,761億円の延滞損害金を免除に。
- ・ 民主化推進のためのプログラムローンは償還期間にすら入っていないのに、クーデターで民主化は後退。2,000億円のODAに対する説明は果たせているのか。
- ・ 延滞債務を理由の新規融資をストップ⇒政治的な制裁とは言わなかった(c.f.日本人ジャーナリストの殺害)。しかし、今回はそうした「他の言い訳」が見つからない。「制裁」と向き合う必要性。



- 「軍との独自のパイプ」の実質的な効果は？
- 「制裁」という表現を避けたいのであれば、延滞損害金帳消しやプログラムローンのフォローアップとして、日本政府が関与できないのか。
- 債務免除のやり方(条件)が適切だったのかは検証すべき。